

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 多摩市立青陵中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒 206-0012
多摩市貝取2丁目9番地の1

E-mail : daihyo-seiryu-chu@city.tama.ed.jp
 Website : https://pbvtamaedu.securesites.net/seiryu/

児童生徒数：男子 175名 女子 203名 合計 378名
 児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (地域社会の持続可能性)

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

★地域学習 ～ 地域の宝物さがし

1 学年 「2050年に残したい多摩の風景」

多摩市の活性化を目的に地域の魅力を探求し、発信する学習に取り組んだ。地域の学芸員にご協力いただき、多摩の自然、歴史、文化、暮らしについて学習し、その後1日かけて多摩市内を散策した。その後作成したPRポスター「2050年まで残したい多摩の風景」を市内の公共施設や路線バスなどに掲示していただき、地域の魅力発信に取り組んだ。

2 学年 「残したい昭和・大正の風景と伝統工芸」

東京の下町に残された古い街並みや今に伝わる伝統工芸など、普段意識することが少ない「東京の魅力」について校外学習を通じて探求した。探求した内容は「下町新聞」としてまとめ発表した。

★キャリア学習 ～ 自己理解と社会の中の役割

1 学年 「ドリームマップ」

ドリームマップとは、将来なりたい自分の姿をイメージし、台紙の上に写真や文字で表していく自己実現ツールである。一般社団法人ドリームマップ普及協会の協力の下、生徒が自分に向き合い、夢を描き、多くの人に伝えることで自己肯定感を高め、更には、他者や社会との関係における自己の価値や意義を強く意識し、社会性や公益性を導き出す学習に取り組んだ。

2 学年 「課題解決型 職場体験」

5日間の職場体験を通じて仕事の厳しさややりがい、喜びについて実体験するとともに、社会貢献という視点で体験先の仕事内容や仕事上の工夫について探求した。さらに、体験後それぞれの職場に対し、中学生なりの提案をすることで、社会的な課題に対して仕事を通じて関わる職業観を身に付ける学習に取り組んだ。

★未来学習 ～ 持続可能な地域社会に向けて

3 学年 「2050年の多摩市を想像してプロジェクトを考えよう」

1、2年で学習した地域学習とキャリア学習の集大成として、3年生は多摩市の2050年を見据え、発展させる方策を企画、立案する学習を実施した。生徒それぞれがテーマを決め、多摩市の現状と課題を探求した上で、できるだけ具体的な提案を行った。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）